

## 特別会計

特別会計とは地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に特定の歳入を特定の歳出にあて、一般会計と区分して経理しているものです。

会計名	歳入	歳出	差引額
土地区画整理	9億7,978万円	3億8,753万円	5億9,225万円
公共下水道	4億7,662万円	4億7,662万円	0円
農業集落排水	7,813万円	7,813万円	0円
宅地造成	1億234万円	1億234万円	0円
国民健康保険	28億3,482万円	29億8,199万円	-1億4,717万円
後期高齢医療	2億4,046万円	2億4,008万円	38万円

## 公営企業会計

### 水道事業会計

平成26年度は、収益的収支の給水収益は減少しましたが、地方公営企業会計基準の見直しに伴い収入支出とも増となり、2,496万円の利益が生じました。



資本的収支では、新会計基準適用や中山・長尾線配水管布設工事、不動寺線西山地区送配水管布設工事など施設整備計画にもとづく更新事業を実施しましたが、収入支出ともに減となりました。

収益的	収入	6億3,262万円
	支出	6億766万円
資本的	収入	9,076万円
	支出	2億7,393万円

### 病院事業会計

平成26年度は、外来および入院患者数の減により病院事業収益は減となりました。また、地方公営企業会計基準の見直しによる退職給付引当金及び賞与引当金の計上により病院事業費用は大幅な増となり、収益的収支は1億5,778万円の純損失となりました。なお、経常収支については税抜で4,371万円の経常利益となりました。

資本的収入および支出については、病棟及び診療棟外部改修工事により、大幅な増となりました。

収益的	収入	14億9,937万円
	支出	16億5,715万円
資本的	収入	9,062万円
	支出	1億4,150万円

## 市債の状況

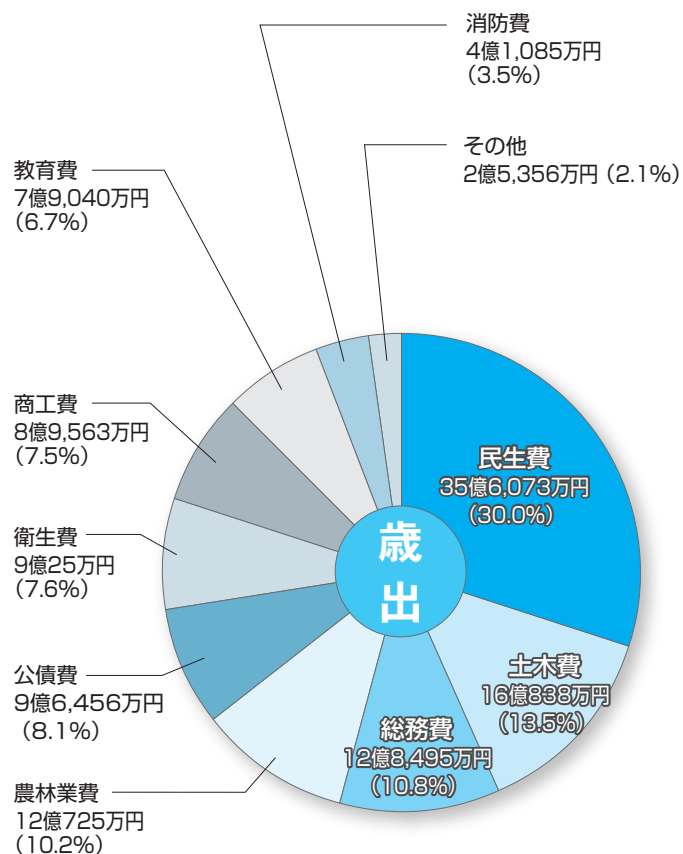
現在高(一般会計)	104億7,226万円
市民1人当たり	514,405円

※市債とは、多額の資金を必要とする事業を行うときに借り入れる資金のことです。なお、返済の財源として将来的に71億円程度が普通交付税が交付される見込みです。

## 基金の状況

財政調整基金	11億2,878万円
減債基金	12億8,375万円
その他特定目的基金	46億6,707万円
合計	70億7,960万円

## 一般会計



市が使ったお金は118億7,